



生涯学習だより

2020/10月号

# ピウカ

発行  
教育委員会

## COM100ギャラリー展示会

COMカレッジ110美深大学  
**学生創作展**  
10月5日(月)～15日(木)

学生による日頃の大学活動で創作した  
作品を展示します。



「きのこ」ってなあに？  
**森を支えるきのこ展**  
10月19日(月)～27日(火)

菌類は植物でも動物で  
もない独立した一群です。

動植物の分解や植物た  
ちの栄養供給など「きの  
こ」をはじめとする菌類が生態系の中でど  
のような役割を果たしているのか解説パネルで



展示します。道北地区博  
物館等連絡協議会巡回展  
として開催します。

● 展示期間は変更する場合がありますので、ご了承ください ●

## 美深町史

— 特集 — 歴史をふりかえる  
美深公民館の開設

町史では、新生日本の建設は、個々の教養を昂め、平和産業の発展を図ることに依って達成されるもので、これが為にはお互いが親交を深め、導き合い、社会人としての一般的知識を修得し情操豊かな住み良い郷土を建設することであって、その場所として自由に利用し且つ使用出来る施設と、組織形態を有する推進機関が必要である事を各種会合に於て町内一般に呼びかけ、昭和21年8月以降町民の公民館への関心を高め、同年9月26日社会教育委員、学校長、各種文化団体長の参集により、公民館設置の協議会を開催し、その設立母体となった当時の民主団体である愛町同志会の手に依り、その年の11月7日公民館設置準備委員の組織及び選任方法につき協議し、翌22年1月委員26名を決定し、昭和22年5月10日「美深公民館」として正式に発足し、西尾町長が館長に就任したと記されています。公民館の設置に伴って各地域には「分館」を設置しています。本館は美深公会堂を転用し、各分館は学校や部落会館、青年会館を利用しており、発足当初は18分館、昭和23年7月には大手、東北分館が会館を新設し、同年11月現在は21の分館が設立されていました。現在は本館のみで、文化会館COM100を公民館としています。(参考文献：美深町史 昭和26年刊)



▲建設当初の美深公会堂